

第 82 回電波利用懇話会を開催

3月25日(金)に、第82回電波利用懇話会を当会の会議室にて開催しました。

今回は、総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課の中里学課長補佐を講師にお迎えし、「700/900MHz帯における携帯電話をめぐる動きについて」というテーマでご講演をいただき、約70名の会員の皆様に受講いただきました。

最初に、我が国における移動通信サービス、スマートフォン市場、移動通信トラヒック等の現状から説明に入り、続いて、ワイヤレスブロードバンド実現のための周波数検討ワーキンググループでとりまとめられた周波数確保の基本方針、700/900MHz帯の周波数割当の検討結果、周波数割当の基本方針及び再編後の見通し等について詳しく説明され、さらに、電波法の一部を改正する法律案（周波数再編の迅速化関係）の概要についても分かり易い説明をいただきました。

全体をとおし、受講者の高い関心を集め、熱心に聴講をいただきました。

また、講演の後に活発な質疑応答が交わされました。



第82回電波利用懇話会の会場の様子と中里課長補佐

第 179 回技術委員会(放送分野)を開催

第 179 回技術委員会(放送分野)を開催しましたので、その概要をお知らせします。

- 1 日時 平成 23 年 3 月 23 日(水) 午後 2 時から 3 時 40 分まで
- 2 場所 当会第 2 会議室
- 3 主な議題
 - (1) デジタル放送システム開発部会の活動報告
 - (2) デジタル放送システム開発部会設置要綱の改正についての審議
 - (3) 素材伝送開発部会の活動報告
 - (4) 素材伝送開発部会設置要綱の改正についての審議
 - (5) 技術委員会運営細則の改正についての説明
 - (6) 第 4 回 APT 準備会合(APG2012-4)の概要についての報告
 - (7) IPR データベースの Web 公開による情報提供についての説明

審議事項の議題(2)及び(4)については、異議なく承認されました。

また、議題(5)については、通信分野と放送分野の両方の技術委員を対象にメール審議を行うこととなりました。

ITU 地域ワークショップ‘IMT for the Next Decade’が開催される

3 月 21 日に、タイのバンコクにおいて ITU 地域ワークショップ ‘IMT for the Next Decade’ が、28 の国から 170 名の参加のもとに開催されました。

本ワークショップは、現在、ARIB で標準化活動が行われている IMT-Advanced の先の市場、サービス及び技術をテーマとしたものです。

第 3 世代携帯電話については世界 130 か国以上で IMT-2000 が導入され、多くの国が次の段階の IMT-Advanced の導入を検討しています。

アジア太平洋地域は世界の人口のほぼ 62%、世界のすべての携帯電話の加入者数の 45.8%を占め、IMT 技術の事業者や大手製造メーカーが拠点を置いておりますが、これらのサービスに対する要求は顕著です。

ワークショップでは、スマートフォンをはじめとする高度なサービスや機器により、データ通信量が増大するとともに、アジア太平洋地域はそのシェアや成長性の高さから将来の有望な携帯電話の市場であることが指摘されました。

また、アジア太平洋地域におけるモバイルブロードバンドの成長を持続していくためには、十分な周波数スペクトラムの確保が必要であることが強調されました。

詳細は、[ITUのニュースルーム・コミュニケ](#)を参照願います。

国際競争力強化のための標準化戦略に関するパネル討論（仮）
～日本を元気にする国際競争力強化戦略～
「開催延期のお知らせ」

「国際競争力強化のための標準化戦略に関するパネル討論」に参加ご登録頂いている皆様へ

この度の東北関東大震災により、直接にあるいは間接的に被害を被られた皆様及びご家族の皆様へ、心からお見舞いを申し上げます。

さて、ICT標準化・知財センター*が、来る3月31日(木)にメルパーク東京において開催を予定しておりました「国際競争力強化のための標準化戦略に関するパネル討論」

<http://www.isipc.org/info/info20110331s/index.html>

ですが、いまだ計画停電の可能性のある時期なので、できる限りの節電に努めるべきであること、また、所属機関の勤務状況や自宅等を含めた関係所在地等の状況により、出席が不可能、又は出席に多大のエネルギーを要する方もおられる状況であることに鑑み、3月31日の開催は延期し、6月6日(月)15:00からの開催とすることにいたしました。

直前のお知らせになりましたことをお許しいただくとともに、6月6日(月)の開催においては、再度、多くの皆様方の参加をお願いいたします。

なお、日程変更による参加申し込みは、[ICT標準化・知財センターのWebサイト](#)でご案内するとともに、既にこれまでに参加申し込みを頂いた皆様にはメールでのご案内もさし上げる予定です。それまで、今しばらくお待ちいただき、Webサイト開設及びメールでのご案内時には、改めて参加申し込みの手続きを取っていただきたくお願い申し上げます。

----- 【変更内容】 -----

「国際競争力強化のための標準化戦略に関するパネル討論」

- ・ パネル討論開催日 6月6日(月)
- ・ パネル討論開催時刻 15:00～17:00
- ・ 開催場所 メルパーク東京の予定
- ・ 参加者懇親会 17:15からの懇親会を予定
(状況により懇親会は開催しない場合もあります。)

※「ICT標準化・知財センター」は、ICT分野の国際競争力を強化することを目標に、我が国における国際標準化・知財に関する様々な取り組みを統括する拠点として、ICT(情報通信技術)分野の標準化に関連する国内の当会を含む8つの機関により設立されました。

ARIBは、設立機関の一つとして、ICT標準化・知財センターの活動に参画しています。

規格会議第 38 作業班主任、T56WG 主査 大西 輝夫
(株式会社 NTT ドコモ 先進技術研究所 主任研究員)



規格会議第 38 作業班主任及び T56WG 主査を仰せつかっております NTT ドコモの大西です。まず始めに、今回の東北関東大震災により被害を受けられた皆様にご心からお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた方々のご遺族の皆様にご心からお悔やみ申し上げます。

さて、本作業班では電波防護に関する規格の策定・改定作業を行っており、ARIB STD-T56 は平成 10 年に諸先輩方が世界に先駆けて策定した携帯電話端末等の SAR(Specific Absorption Rate:比吸収率)測定法の規格となります。その後、欧州や米国でも SAR 測定法の標準化が行われ、国際的に統一した規格を策定する必要があるため、現在では主に IEC(国際電気標準会議)TC106 にて標準化が推し進められております。

ARIB STD-T56 の初版策定当時、我が国の携帯電話契約数は 3,000 万弱程度でしたが、最近では携帯電話はもとより様々な無線機器が普及しております。そのような状況に対応すべく T56WG でも国際協調を図りつつ、他業界と連携して SAR 測定法の改訂作業を進めているところです。

電波を扱う業界として電波の安心・安全な利用に努めることは責務であります。少しでも業界発展のお役に立てるように、今後も尽力する所存ですので今後とも皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

編集後記

3 月 31 日付けで ARIB を卒業し、出向元に帰任することになりました。

7 年前に ARIB に着任し、ARIB 機関誌の編集、ARIB ニュースの編集、業務委員会の事務局、規格会議の事務局等を務めさせていただきました。

7 年間は長すぎたようにも思いますが、規格会議の運営改善には腰を据えて取り組むことができ、ARIB 標準規格・技術資料の電子化、規格会議事前資料の電子配信、工業所有権のデータベース化等について、多くの方々の協力のもとで、一定の成果を出すことができました。

ARIB ニュースについては、着任直後に企画国際部の先輩編集子たちから、「編集後記だけは必ず書くように。」と厳命されて、欠かさず書き続けましたが、苦痛ではなく、むしろ楽しみながら書くことができました。ARIB ニュースの編集に携わることができなくなるのが残念ですが、これからは読者の立場で ARIB ニュースの発行を楽しみにしたいと思います。

皆様、長い間、本当にありがとうございました。

(編集子:PAO 斉藤友之)

ARIB

Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-1 日土地ビル11F
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp